

社会資本総合整備計画 事後評価

令和3年3月

【担当及び関係課】 道路交通局道路部道路課、道路交通局街路課、道路交通局道路計画課

計画の名称	直轄国道バイパス及び指定都市高速道路等へのアクセス向上に資する道路整備（Ⅱ期）		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）		
計画の目標	直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cへのアクセス道路網を整備することにより、当該地区に予想される交通需要を適正に配分し、交通環境の改善及び、広島都市圏内の連携の強化を図るものである。		
計画の成果目標（定量的指標）	直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cへ10分で到達可能な人口の拡大		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値	中間目標値	
	(H26末)	(H30末)	(H32末)
要素事業に関連する、直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cへ10分で到達できる人口。 Σ（現地走行調査による、直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cから10分以内の地区の人口）	0万人	0万人	3.0万人

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H26	44 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>安芸1区上瀬野線 道路改築（L=310m）を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>府中祇園線ほか 道路改築（L=800m）を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>安佐南4区431号線ほか 道路改築（L=570m）を計画し、計画通り実施した。</li> <li>南1区松原京橋線ほか1路線 道路改築（L=180m）を計画し、事業進捗を図った。</li> </ul>
	H27	408 百万円	
	H28	172 百万円	
	H29	241 百万円	
	H30	169 百万円	
	合計	1,034 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	【完了した事業】 ○基幹事業 ・安佐南4区431号線ほか 沼田PAスマートI.Cへのアクセス道路を整備し、交通環境の改善及び広島都市圏内の連携の強化を図った。
	【継続、移行する事業】 ○基幹事業 ・安芸1区上瀬野線、府中祇園線ほか 地域連携事業費補助に移行し、引き続き整備を行う。  ・南1区松原京橋線ほか1路線 整備計画「直轄国道バイパス及び指定都市高速道路等へのアクセス向上に資する道路整備（Ⅲ期）」に移行し、引き続き整備を行う。

目標値の実現状況	指標： 要素事業に関連する、直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cへ10分で到達可能な人口の拡大Σ（現地走行調査による、直轄国道バイパスや指定都市高速道路等のI.Cから10分以内の地区の人口）
	中間目標値（H30末） 最終目標値（H32末） 目標値と実績値に差が出た要因
	0万人 3万人
	中間実績値（H30末） 最終実績値（H32末）
	0万人 2.7万人

要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況
--

3. 今後の方針

継続中の要素事業については、新たに策定した整備計画「直轄国道バイパス及び指定都市高速道路等へのアクセス向上に資する道路整備（Ⅲ期）」等へ移行して引き続き整備することで、交通環境の改善及び広島都市圏内の連携の強化に取り組む。

4. その他特記事項

--